

学びの専門家を目指して

倉敷教育センター 館長 有森 真理

この1年は、世界中の人々が知恵を出し合い、新型コロナウイルス感染症と戦った1年でした。倉敷教育センターにとっても、学校の臨時休業や先生方の分散出勤、研修会場となる施設の閉館が続く状況の中、また「新しい生活様式」に沿ってどのように事業を続けていこうかと悩み続けた1年でした。学校での教育活動と同様に、途切れさせないように続けるためには、変えなければならぬことも多くありました。「続ける」ということは「同じように繰り返す」と考えがちですが、続けていくためには、また前に進んでいくためには、「変わる」ということが必要なのだと学びました。

今年度読んだ文章や記事の中で、このグラフは特に印象に残っています。「日本の子どもたちの自尊感情の低さ」を取り上げた記事は何度か目にしたことがありましたが、教員も自信をもてないのです。週の勤務時間はどの国よりも長くこんなに頑張っているのに、どうしてここまで他の国とかけ離れた結果なのかと驚きました。向上心の表れなのか、謙虚さを美德とするからなのかとも考えましたが、要因が気になり、「OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) 2018」の報告書を調べてみたところ、こんなことに気づきました。参加48か国の平均では1週間の仕事時間38.3時間のうち2.0時間(5.2%)が職能開発活動(教員としての技能、知識、専門性その他の資質を高めるための活動)に費やされていますが、日本は1週間の仕事時間56.0時間のうち職能開発活動に費やされているのは、わずかに0.6時間(1.0%)でした。一方で、日本の教員は、全体的に職能開発のニーズが高い傾向にあることも分かりました。必

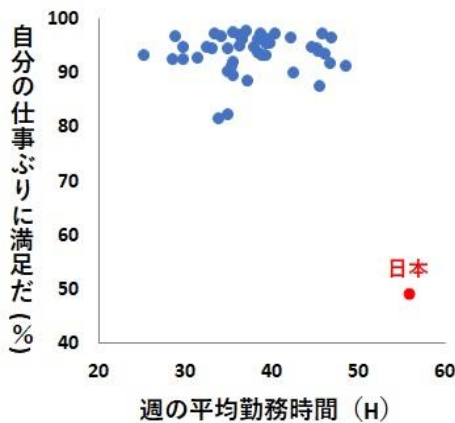
要性は感じているのに十分に学べていないことが、満足感をもてない理由なのではないでしょうか。

新型コロナウイルスの流行は、世界中で第四次産業革命を加速化させているとも言われています。世界経済フォーラムが発表した「仕事の未来レポート2020」によると、すでに29%の労働が機械化(AIとIoTに代替)されており、2025年までに52%が機械化されると予測されています。第4次産業革命が進むと、これまで人間が考えたり、判断したりしていた労働の一部が機械化されるわけですから、今後新しく創出される労働のほとんどは、知的に高度な仕事になると予想されます。そのためレポートは、労働者に向こう2年間で101日分の学習をすることを推奨しています。学習院大学特任教授の佐藤学先生は、世界の状況が大きく変化する中、教師は20世紀型の「教える専門家」から、21世紀型の「学びの専門家」になることが必要だと強調されています。

先生方が「学びの専門家」になるためにも、自らの仕事への誇りややりがいをもつためにも、学ぶことは不可欠な状況です。先生方の応援団である倉敷教育センターでは、間もなく終わろうとしている激動の令和2年度を振り返り、学ぶ楽しさや良さを提供できるような研修を実施していくことの大切さを改めて感じています。先生方が自信と意欲を高め、変化を前向きにとらえながら、子どもたちの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たせる「学びの専門家」となれるよう先生方とともに前進してまいりたいと思います。今年度の御支援に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



中学校教員の労働時間と自信



* OECD 「TALIS2018」より作成。

舞田敏彦氏「数字が語る日本の教育」

(日本教育新聞 令和2年5月4日・11日付)より引用

初任者研修最終回&オープン講座 記念講演

「日本遺産のまち 倉敷市
～ 一輪の綿花・北前船・古代吉備 ～」

倉敷市企画経営室 日本遺産推進室 藤原 憲芳 主任

倉敷市教育大綱「“From Kurashiki”が誇りとなるひとづくり」について考え、倉敷市で教員人生を歩んでいくことへの意欲を高めることを目的に開催しました。テレビ・ラジオ番組、研修講座、出張授業等で「日本遺産」について発信している藤原主任に、倉敷市の3つの「日本遺産」ストーリーについてお話いただきました。



【研修のキーワード】

伝統を語るストーリー

始まりは一輪の綿花

和と洋

誇り



<受講者からのアンケート>

- 倉敷市の偉人や歴史ある建造物を知ってはいましたが、今日学んだようなストーリーがあるとは思ってもみませんでした。多くの人に倉敷市を訪れ知ってもらいたいと感じました。倉敷市のよさに触れることが郷土愛にもつながると思います。初任校が倉敷市内である縁を大切に、子どもたちと倉敷市の歴史や魅力をもっと学んでいきたいです。
- 倉敷の歴史、倉敷のストーリーを知ることで、より一層誇りを感じた研修でした。倉敷で生まれ育ってきましたが、有名な場所や製品などは知っていても、それらがつながって一つのストーリーをつくっていることは知りませんでした。これから倉敷で教員生活を送るうえで欠かせない内容だと思いました。
- 美観地区に行くと、こんなにすてきな場所が間近にあるのかと感じます。今回は、歴史を含め倉敷の魅力を知ることができました。生徒も自分が住む町のことをほとんど知らないと感じることがあります。学級や授業でもっと積極的に地域の話盛り込めるように勉強していきたいです。住む町のことを知ることで、地域や地域の方のことを好きになり、居場所を感じられるようになっていくと思います。生徒の居場所づくりのためにも活用していきたいです。
- 倉敷市出身ではないので、児童といっしょに倉敷市の魅力を学ぶ毎日です。遠足や校外学習も、倉敷市を誇りに思い、魅力に気付くきっかけになるのだと思いました。そのためにも、教師が目的意識をしっかりとって実施する必要があると思います。これから生きる児童には、生まれ育った土地の魅力を知り、誇りに思い、紹介できるようになってほしいです。知れば知るほどつながりが分かり、楽しみながら学べるのではないかと思います。
- 倉敷市には「日本遺産」に認定されたストーリーが3つもあることを知り、倉敷の歴史や文化、伝統に改めて興味をもちました。子どもたちには「倉敷っ子憲章」にもあるように、世界の人とながり、郷土倉敷の良さを伝え、倉敷を発展させることができるような人に育ててほしいと思います。まず自分から、倉敷の魅力子どもたちに語っていきたいです。

令和2年度 全研修講座が終了しました☆

中堅教諭資質向上研修 最終回

「特定課題研究発表会」



特定課題研究発表会では、中堅研受講者がそれぞれのテーマで1年間研究実践を重ねた成果を発表しました。発表内容は、教科指導、学級経営、特別支援教育、道徳教育、生徒指導、ICT活用の研究等、多岐にわたっていますが、どの発表にも「子どもたちにこんな力を付けたい」という思いが共通してありました。

今年度は3日間の開催の中で、91名の受講者が発表し、互いの発表を聴き合い、真剣に学び合う様子が各会場で見られました。また、3年目研修の受講者は、自らの課題や研究に資するようにと発表会に参加し、熱心に質問をしていました。校長先生や来年度受講予定の先生も聴講され、活気あふれる発表会となりました。中堅研受講者は、この研修をステップアップの機会とし、今後より一層の自己研さんと、ミドルリーダーとしての飛躍が期待されています。



【参加された校長先生から】

中堅研の先生方が、生き生きと自信をもって発表する様子は頼もしく、各学校のミドルリーダーとして活躍する姿が目につかびました。年間を通じて課題追究や実践、検証を行い、同世代の先生方で発表し合うことは、このキャリア層全体のレベルアップにつながっていくと思います。

【中堅研受講者のアンケートから】

中堅研の先生方の発表は、「もっと知りたい!」と思うことばかりでした。それぞれの学校で熱心に研究し、頑張っている姿は刺激になりました。私もミドルリーダーとしてもっと頑張っていきたいです。研究発表は終わりましたが、これからも研究を続け、子どもたちに、学校に還元できるようにしていきたいと思います。

3年目研修 最終回

実践発表「学級経営・教科指導」

3年目研修の最終回は、各自がテーマを決めて取り組んできた教科指導または学級経営に関する課題研究の実践発表及び協議でした。

【受講者のアンケートから】

- ・ 見えないところで多くの先生方が同じように悩み、考え、頑張られていたことを知ることができ、これからの励みになりました。共感し、高め合える同期との関係を大切にしながら、これからもより良い教員を目指していきたいです。
- ・ 同期からまた新たな視点を得ることができました。まだまだ知らないことが多く、引き出しが少ないなと感じました。引き続き、研究と修養に努めたいです。
- ・ 子どもの意欲に火をつけることができるかが、学習にも学級経営にも関わってくると感じました。学習と学級経営の両輪でこれからも頑張っていきたいです。



令和3年度受講者数

(延べ人数)

1 初任者研修(新規採用学校栄養職員を含む)	1,459名	14 幼児教育研修	中止
2 2年目研修	315名	15 学校事務職員研修会	116名
3 3年目研修	280名	16 学校事務職員スキルアップ研修	101名
4 中堅教諭資質向上研修	889名	17 新規採用学校栄養職員研修	1名
5 16年目研修	145名	18 教科教育基礎研修	160名
6 新任教務主任研修	84名	19 特別支援教育研修	96名
7 特別支援教育新任担当教員研修	177名	20 授業ユニバーサルデザイン(UD)研修	76名
8 特別支援教育コーディネーター研修	194名	21 特別支援学級スキルアップ研修	19名
9 通級指導教室担当教員研修	中止	22 発達検査研修【WISC-IV検査】	中止
10 生活支援員研修	中止	23 学校カウンセリング研修	23名
11 新任講師研修	86名	24 子どもの発達を考える会	100名
12 2年目・3年目講師研修	102名	25 生徒指導研修	113名
13 幼稚園助教諭研修	8名	26 学校・家庭・地域の連携促進事業関係者等研修	10名

倉敷ふれあい教室めぐり

☆☆ 水島教室 ☆☆

☆ 和気あいあいとした

活発な雰囲気です...

倉敷ふれあい教室水島教室は、ライフパーク倉敷内にある倉敷教育センター事務室の隣に教室があります。館内にある科学センター等を利用したり、隣接した福田公園の散策をして四季を感じたり、テニスコートを利用したりすることもあります。施設内は空調も完備されており、過ごしやすく、恵まれた環境の中で活動しています。教室目標は「一歩」です。日々一歩ずつ前向きに進んでほしいという思いをこめて教室の前に掲げています。



[大ホールでのスポーツ]

『なかよし活動』では、様々な活動に取り組んでいます。「創作活動」は、手芸・工作・アート作品作りなどをします。ボランティアの方に「書道」、科学センターの先生に「科学実験」や「科学工作」を教えていただくこともあります。「スポーツ」は、研修室で卓球、大ホールでソフトバレーボール・バドミントン、福田公園のテニスコートで硬式テニスをしています。初めての人も、少しずつうまくなってゲームができるようになり、プレーを楽しんでいます。他には、「幼稚園交流」、「ボランティア活動（窓ふき・ごみ拾い）」、「音楽活動（ギター・ハンドベル）」、「栽培活動（夏野菜）」、「レクリエーション」、「調理実習」、「手話」、「図書」などがあります。初めてのことにも、チャレンジして楽しく活動しています。



[秋の遠足]

『スタディ』の時間には、自分のペースで学習に取り組めます。

『秋の遠足』では、「長船美しい森」に行き、アスレチックをしました。

現在は18名が在籍しており、自分の決めたペースで登室して、なかよく活動し、笑い声の絶えない活発な雰囲気の教室となっています。

おっ!? そうだ!

教育センターの教科書展示室に



寄ってみよう!



研究集録を読みたい!

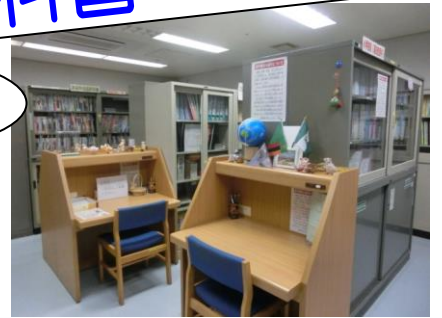
教科書を比べてみたい!

次の物を展示しています。

- ・ 各発行者の教科用図書（教科書）
- ・ 倉敷市内の小、中、特別支援学校の研究集録
- ・ 研究団体の研究集録（岡山県や他市の教育センター、大学等）
- ・ 教育に関する雑誌・図書（「教育時報」「実践障害児教育」「学校教育相談」等）
- ・ 研修講座での実践発表、作成した学習指導案等



教育センター事務室の隣だよ!



☆ 1か月まで 貸し出すことができます。（教科用図書、研究収録等は閲覧のみのものもあります。また、貸出しができない期間もあります。）

☆ 開館時間は、月曜日～土曜日の9時から17時15分です。（日曜日と祝日は閉館日です。）

☆ 月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）はライフパークの休館日ですが、教育センターは開館しています。入口の御案内をしますのので、来られる方は事前に御連絡ください。

倉敷教育センター ☎ 086-454-0400

☆本（ほしぼん）を知っていますか？

特別支援学級等の指導の参考にも!

特別支援学校では、小（中・高等）学校と同じ教科書のほか、子どもの障がいの状態に合わせて作成された教科書などを使っています。文部科学省では知的障害者用に、通称「☆本（ほしぼん）」と呼ばれる教科書を作成しています。小学部用には「こくご」「さんすう」「おんがく」、中学部用には「国語」「数学」「音楽」があります。倉敷教育センターで貸し出しが可能です!

